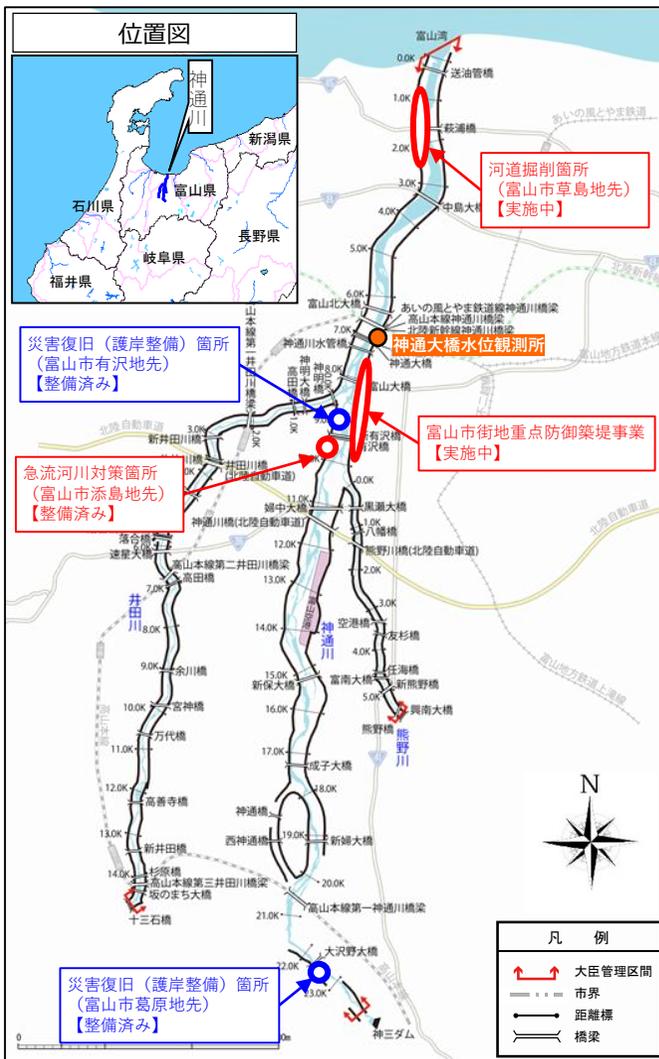


- 神通川は、**全国有数の急流河川**であり、平成30年7月洪水では富山市葛原地先で堤防欠損、有沢地先で河岸侵食が発生するなどし、**河川改修事業(急流河川対策)**や**災害復旧事業(護岸整備)**による整備を実施。
- 令和2年7月豪雨では、**観測史上第5位の大きな洪水**となったが、これまでの急流河川対策の実施や災害復旧事業による整備より、河岸の侵食などは生じず、対策**効果が発揮**。



今回出水の概要

【過去の出水との比較(神通大橋)】

順位	年月日	水位(m)
1	平成16年10月21日	8.33
2	平成30年7月6日	7.20
3	昭和58年9月28日	7.10
4	平成18年7月19日	6.71
5	令和2年7月8日	6.60

・観測史上5位の規模の出水が発生

災害復旧(護岸整備)の効果

【災害復旧整備箇所(富山市葛原地先)】



急流河川対策の効果

【急流河川対策整備済み箇所(富山市添島地先)】



【災害復旧整備箇所(富山市有沢地先)】



- 神通川では、右岸6.8k～10.4kにおいて、富山の中枢を洪水から守る富山市街地重点防御築堤事業を実施中。また草島地区においては防災、減災、国土強靱化のための3か年緊急対策等において河道掘削を実施中。
- 実施中でありながらも、堤防のかさ上げと護岸の整備により、洪水に対する堤防の安全を確保。また河道掘削により洪水位の低下効果が発揮。

富山市街地重点防御築堤事業の効果

【拡幅、護岸改修の効果】

・老朽化した護岸を撤去し、堤防拡幅および新規護岸を設置



河道掘削・樹木伐採の効果

【草島地区における河道掘削・樹木伐採の箇所】



【河道掘削・樹木伐採の効果】



↓L1.0付近 出水時 7/8 11:00頃



7. 治水事業の効果 庄川 急流河川対策・災害復旧実施箇所

- 庄川は、**全国有数の急流河川**であり、平成30年7月洪水では砺波市庄川町三谷地先で河岸侵食が発生したため、**災害復旧事業(護岸整備)**や**河川改修事業(急流河川対策)**による**整備を実施**。
- 令和2年7月豪雨では、これまでの急流河川対策の実施や災害復旧事業による整備により、河岸の侵食などは生じず、**対策効果を発揮**。



今回出水の概要

【過去の出水との比較(大門)】

順位	年月日	水位(m)
1	平成16年10月21日	7.69
2	平成30年7月7日	6.93
3	平成29年10月23日	6.79
4	平成1年9月6日	6.30
5	昭和58年9月23日	6.26

本出水の最高水位：5.99m (7月8日13時40分)

災害復旧の効果

【災害復旧箇所(砺波市庄川町三谷地先)】



護岸整備の効果により欠損や侵食は見られない



急流河川対策(護岸整備)の効果



護岸整備の効果により欠損や侵食は見られない



護岸整備の効果により欠損や侵食は見られない



護岸整備の効果により欠損や侵食は見られない